

会 報

事務局より



九州北部豪雨で支援金をお渡ししました。

日 時：平成29年7月26日（水）午後3：00～

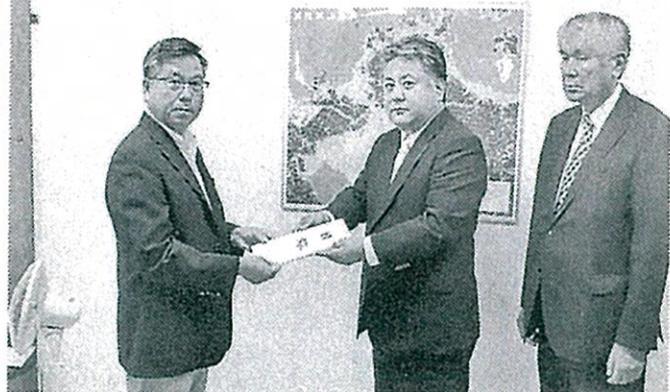
内 容：福岡県 県土整備部

山本県土整備部長が不在の為、義経技監に支援金目録を手渡す。

7月28日（金）の九建日報に掲載しています。

参加者：田中会長、近藤・星子両副会長、井上広報委員長、鎌田事務局長（5名）

九州北部豪雨で支援金 福岡県交通安全施設業協会 県土整備部義経技監に手渡す



（一社）福岡県交通安全施設業協会（田中賢哉会長、正会員71社）は26日、福岡県庁を訪れ、九州北部豪雨災害への支援

金30万円を県土整備部の義経俊二技監に手渡した
＝写真＝。

同協会では会員からの援助と活動費から支援金90万円を捻出。県のほか朝倉市、東峰村、添田町にもそれぞれ20万円を贈る。
支援金の贈呈には田中

会長（西日本ディックライト）、近藤正明副会長（寿陽建設）、星子洋満副会長（双葉工業）らが訪問。目録を受け取った義経技監は「所管部局と話し合い、しっかりと役立てたい」と感謝の言葉を述べた。田中会長は「少しでも被災地の復旧・復興の力になればと思っ生ずるか分からない。協会としてもそつした事態に対応できるよう体制づくりを進めたい」と話した。

協会員は県内全域に及び、同協会では災害時に標識や工事看板、カラーコーンなどの提供で支援できるとして、県との防災協定の締結に向けて協議を進めることになっている。

（平成29年7月28日掲載分）